



公益財団法人メニコン芸術文化記念財団 2024年度 主催事業ラインアップ発表

主催：
公益財団法人メニコン芸術文化記念財団
愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号
TEL:052-938-7185(10時-17時) * 休館日除く(不定期)
FAX:052-982-9108

広報に関するお問い合わせ：
公益財団法人メニコン芸術文化記念財団 主催事業ラインアップ発表 記者会見事務局
TEL:03-4213-4292(平日10時-18時) FAX:03-4333-0878
E-mail:press@aoi-press.info

<https://meniconart.or.jp/>

主催事業ラインナップ一覧 2024.4-2025.3

通し番号	ジャンル	タイトル	日程	掲載ページ
1	芸術監督作品 子どもから大人まで 演劇	山口茜 脚本・演出 子どものための舞台作品 『光と影(仮題)』	11月23日(土) ～24日(日)	P4
2	演劇	ばぶれるりぐる 『川にはとうぜんはしがある』	4月20日(土) ～21日(日)	P5
3	演劇	iaku 『流れんな』	8月3日(土) ～4日(日)	P6
4	演劇	二兎社 『こんばんは、父さん』	1月13日(月・祝)	P7
5	芸術監督トークシリーズ 映画上映	坂上香 監督作品 『プリズン・サークル』	7月28日(日)	P8-9
6	芸術監督トークシリーズ 演劇	うさぎの喘ギ 『いみいみ』	10月12日(土)	P8-9
7	芸術監督トークシリーズ 映画上映	重江良樹 監督作品 『ゆめパのじかん』	1月25日(土)	P8-9
8	ワークショップ 子どもから大人まで	ヒョーゲンアソビノバ	8月25日(日)	P10
9	伝統芸能	風間杜夫 落語独演会	7月13日(土)	P11
10	音楽	名古屋二期会 with オペラユニット THE LEGEND 『Époque(エポック)ステージ ～音楽の物語～』	10月5日(土)	P12
11	音楽 映像	コンサート『光と音のタペストリー』	12月15日(日)	P13
12	音楽 レクチャー 人材育成	プリズムステージ2024	2024年4月～2025年3月 約30公演開催予定	P14
13	映像上映 音楽	シアターロビーイベント 『光の切り絵～雫の旅～』 (同時開催 ロビーコンサート)	原則毎週火曜日 (ロビーコンサートは 不定期開催)	P15

代表理事ご挨拶

あらゆる人々が心豊かな生活を送る上で、芸術文化が果たす役割は非常に大きいと考えております。また、芸術文化が根付いた地域でこそ、経済や産業におけるイノベーションが発生していくのではないのでしょうか。

一方で、昨今の芸術文化を取り巻く環境は、劇場・ホールの閉館や公演機会の減少により、将来の発展に向けて重要な役割を担う若者の活躍の場や、地域の方々が優れた芸術文化に触れる機会が徐々に失われつつあります。

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団は、音楽、演劇、舞踊その他の芸術及び芸能の振興並びに地域の芸術文化・教育の発展に寄与することを目的とし、2021年9月に設立いたしました。2023年4月には愛知県より「公益財団法人」の認定をいただき、「公益財団法人メニコン芸術文化記念財団」に移行いたしました。

当財団は、公演事業及びメニコンシアターAoi、HITOMIホールの貸出・管理・運営を通じて、若手実演家やクリエイターの活躍・育成の場の創出、幅広い方々が芸術文化に触れ合うことができる環境の構築に貢献してまいります。

2023年7月にグランドオープンしたメニコンシアターAoiは、山口茜芸術監督のもと、開館2年目も素晴らしいラインアップをお届けできる運びとなりました。2012年に開館したHITOMIホールでは、本年も引き続き、公演事業、人材育成事業をはじめとした多彩な音楽事業を展開いたします。

今後共、当財団の活動にご支援、ご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表理事 田中英成



田中英成(株式会社メニコン取締役兼代表執行役会長 CEO・眼科医)

経歴

1987年4月	株式会社メニコン 入社
1988年6月	愛知医科大学眼科学教室 研修医
1989年9月	総合上飯田第一病院眼科 医員
1994年4月	有楽河合ビル眼科 院長
	株式会社メニコン 取締役
1999年6月	株式会社メニコン 取締役副社長
2000年6月	株式会社メニコン 代表取締役社長
2010年6月	株式会社メニコン 取締役代表執行役社長
2023年4月	株式会社メニコン 取締役代表執行役会長(現任)

受賞歴

2005年11月	フランス芸術文化勲章 シュバリエ受章
2018年4月	藍綬褒章受章
2019年8月	シンガポール共和国 The Public Service Star 受章

主な公職

2004年6月～2017年6月	一般社団法人日本コンタクトレンズ協会	会長
2017年6月～	同	相談役
2009年4月～2023年4月	在名古屋シンガポール共和国	名誉総領事
2013年4月～	日本室内楽アカデミー楽友会	理事
2016年12月～2023年6月	公益財団法人東京二期会	理事
2016年12月～2023年5月	学校法人名古屋自由学院	理事・評議員
2021年5月～	公益財団法人セントラル愛知交響楽団	理事
2021年9月～	公益財団法人メニコン芸術文化記念財団	代表理事
2022年5月～	一般社団法人名古屋二期会	理事
2022年10月～	クリエイティブ・リンク・ナゴヤ	理事長
2022年11月～	公益社団法人スター・クラシックス協会	代表理事
2023年10月～	学校法人愛知医科大学	客員教授

メニコン シアターAoi芸術監督からのご挨拶

メニコン シアターAoiの設立から1年が経とうとしています。私は幸運にもこの1年間、劇場とはどのような場所であるべきなのか、考えを巡らせる機会をいただきました。

劇場とは、芸術を嗜む場所です。芸術を通して、日頃のストレスを発散する場所という方もおられるでしょう。知的好奇心を満たす場所、誰かと交流する場所、情報交換をする場所。劇場は、人々の生活を豊かにするあらゆる可能性に満ちています。でもそれなら居酒屋でもいいし野球場でもいい。劇場でなければならない理由は、なんなのだろう？そこには芸術というキーがもちろんあるわけですが、では芸術とは一体、なんなのか。

私は子育てを通して、芸術とは人間の根源的な欲求だと考えるようになりました。私たちの根源的な欲求とは、目に見えないものとの接続です。子供たちは知識も経験もないうちから、舞い踊り、歌い、演技をします。そうやって目に見えないものと接続するのですが、であるならばこの劇場という場所は、人間の根源的な欲求が満たされる場所ではなくてはなりません。

さて、人間とは誰なのかというと、それは一人一人、全ての人のことを指します。

そんなことはわかっているという声が聞こえてきそうですが、人間はこれまで「人間」とはそこにいる全員を指すと考えながら、しばしば「マイノリティ」のレッテルを貼られた人々を無自覚に排除したり、見えない存在として扱ってきました。現代になってそのことがようやくフォーカスされるようになったのは、多くの方の知るところです。そこで私は劇場を、構造的抑圧によって声や存在を封じられた人々のための場所にしたいと考えました。劇場が目に見えないものと接続できる場所であるならば、マイノリティこそ、劇場が焦点を当てるべき存在なのではないでしょうか。それでは劇場がマジョリティを排除することになるのではないかと危惧する方もおられるかもしれませんが、マイノリティの本質は一人ひとりの中に存在します。それは、私たちが「ないもの」として、抑圧したり見過ごしたりしている自分自身の側面であり、社会の期待の層の下に隠されたままのアイデンティティの一面です。

メニコン シアターAoiは、全ての人がここで見えないものを見て、自身の中に内在する多様性と出会える劇場を目指します。

メニコンシアターAoi芸術監督 山口茜



山口茜(劇作家・演出家)

経歴

- 1997年 京都の野外劇団に役者として入団
- 1999年 「魚船プロデュース」を設立し、作・演出を担当(7作品上演)
- 2002年 団体名を「トリコ・A」と改称し、固定メンバーでの活動を開始
- 2003年 京都芸術センターセレクションに選出、上演
- 2005年 東京国際芸術祭リージョナルシアターに参加
- 2007年 文化庁新進芸術家海外留学研修制度研修員としてフィンランドに2年間滞在、フィンランド国立劇場にて研修
- フィンランド国立劇場(ヘルシンキ)にてJuha Mäkelä演出『VEDEN HOUKUTUS (日本語:誘ふ水)』中の1作品として『豊満ブラウン管』(劇作担当)を上演
- 2010年 帰国後、第一作としてトリコ・Aプロデュース『クリスチネ』を上演
- 2015年 アトリエ劇研アソシエイトアーティストに就任(~2017年)
利賀演劇人コンクール2015に参加したメンバーで「サファリ・P」を立ち上げ
セゾン文化財団シニアフェローに選出(~2018年)
- 2016年 合同会社stampを設立
- 2017年 サファリ・P 第2回公演『悪童日記』を京都・東京・松山にて上演
- 2019年 コソボ共和国の演劇祭FEMART Festival 7th、瀬戸内国際芸術祭2019にて『悪童日記』を上演
- 2021年 メニコンシアターAoi(名古屋市)芸術監督に就任

受賞歴

- 2003年 第10回OMS戯曲賞大賞
- 2007年 若手演出家コンクール2006 最優秀賞
- 2012年 文化庁芸術祭新人賞
- 2013年 龍谷奨励賞
- 2015年 利賀演劇人コンクール2015 優秀演出家賞一席

2023年度主催事業 実績報告

(2024年1月31日 時点)

メニコン シアターAoi		
公演順	公演名	参加数(延べ)
1	<シアターAoiプレイベント> 平田オリザ講演会「新しい広場を作る-地域における劇場の役割-」(全1回)	195
2	<トライアルイベント> サファリ・P 透き間 (全1公演)	117
3	<シアターAoi柿落とし公演> 歌劇「あしたの瞳」2023～もうひとつの未来～ シアターAoi Specialバージョン (全4公演)	685
4	劇団チョコレートケーキ ブラウン管より愛をこめて -宇宙人と異邦人- (全3公演)	435
5	座・高円寺レパートリー ピン・ポン (全2公演)	256
6	小曾根真(ピアノ) & アヴィシャイ・コーエン(ベース) “The Amity Duet”(全1公演)	240
7	岩井秀人(ハイバイ)演出 ワレワレのモロモロ 名古屋編 (全3公演)	246
8	トリコ・A 演劇作品2023 そして羽音、ひとつ (全3公演)	240
9	座・高円寺レパートリー フランドン農学校の豚 (全2公演)	176
10	ルドルフ その犀はひとり行く (全3公演)	233
11	ナビチリーディング×シアターAoi (全1回)	46
12	ITOプロジェクト 糸あやつり人形芝居 高丘親王航海記 (全4公演)	581
13	広瀬悦子 ピアノリサイタル 『ピアノで奏でるシンフォニー ベートーヴェン交響曲第9番を弾く』(全1公演)	199
	合計	3,649

HITOMIホール		
	公演名	参加数
	プリズムステージ (全28公演)	1,612
	合計	1,612

〈芸術監督作品〉

芸術監督作品

子どもから大人まで

演劇

オーディション開催

芸術監督・山口茜がメニコンシアターAoiのために創作する舞台作品を上演。

1 山口茜 脚本・演出

子どものための舞台作品『光と影(仮題)』

2024年11月23日(土)～24日(日) 3回公演(予定)

会場:メニコンシアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【脚本・演出】山口茜

【科学監修・ドラマトウルク】上羽貴大

【音楽】増田真結

【出演】芦谷康介、佐々木ヤス子、達矢(以上、サファリ・P)、他

* 2024年春に出演者オーディション実施予定

トリコ・A演劇公演2023『そして羽音、ひとつ』(会場:メニコンシアターAoi)

撮影:羽鳥直志

演劇×科学＝??

子どもの想像力と好奇心を掻き立てるアツと驚く仕掛けが詰まったワンダーの玉手箱

メニコンシアターAoi芸術監督の山口茜が、劇場のための初めての演出作品に選んだのは、子ども向けの舞台作品です。長らく劇場のレパートリーとして、多くの子どもたちに楽しみ続けてもらえる作品をつくりたいと意気込みを語る山口は今回、「科学実験」を題材にした演劇作品をつくります。光や音、舞台に欠かせないこれらの要素の不思議に迫り、子どもたちの知的好奇心を刺激する、歌あり、踊りありの楽しいステージ。

でも、そんな賑やかな雰囲気にも馴染めない人たちも無理なく過ごせる、劇場のコンセプトそのままの「誰もが主役」の演劇作品。

本作は名古屋での製作を予定しています。本年春に出演者オーディションを実施予定！また、演出助手も公募予定です。

山口茜(→P2)

〈演劇作品〉

芸術監督・山口茜がメニコン シアターAoiのために選んだ演劇作品を上演します。

2 ばぶれるりぐる『川にはとうぜんはしがある』

2024年4月20日(土)14:00、21日(日)14:00 2回公演(予定)

会場:メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【脚本】竹田モモコ

【演出】チャーハン・ラモーン

【出演】竹田モモコ、大江雅子、上杉逸平(メガネニカナウ)、
鄭梨花、窪田道聡(劇団5454)

ばぶれるりぐる『いびしない愛』舞台写真 © takashi horikawa

私、あの人のことがなんだかさっぱりわからない。

母屋と離れをつなぐ「通り土間」で繰り広げられる家族の定点観測。

戯曲賞を立て続けに受賞し、NHKドラマの脚本を務めるなど、現在多方面から注目を集める劇作家・俳優の竹田モモコの演劇ユニット「ばぶれるりぐる」の新作公演がメニコン シアターAoiに登場！竹田の出身地である高知県土佐清水市の方言「幡多弁」の会話劇を主体とした作品を発表し続けて、演劇界で異彩を放っています。

ばぶれるりぐるにとって名古屋での初上演となる新作は、母屋と離れを繋ぐ「通り土間」を舞台にした、家族の定点観測。いったいお母さんはいつまでお母さんなんだろう？



ばぶれるりぐる

2018年旗揚げ。竹田モモコ主宰の演劇ユニット。

竹田の出身地、高知県土佐清水市の方言『幡多弁』によるコントや会話劇を発表する。

『ばぶれる』とはだだをこねてあばれる。『りぐる』とはこだわる。という意味。

普遍的な悩みや葛藤を扱いつつも印象はライト。おもわず笑ってしまう劇作を得意とする。日々がんばる大人のための演劇を目指す。



竹田モモコ(ばぶれるりぐる主宰/作/演出/役者)

2007年 劇団『売込隊ビーム』入団。

2008年 以降、自劇団の全作品に出演。

2012年 『売込隊ビーム』退団。その後役者としてフリーで活動。

2018年 自身の出身地、高知県土佐清水市の方言『幡多弁』を使用したお芝居を打つべく、一人ユニット『ばぶれるりぐる』を旗揚げ。

同年7月、旗揚げ公演『ほたえる人ら』で初の長編戯曲を発表。

同作が日本劇作家協会新人戯曲賞一次選考通過。

2019年 伊丹アイホールの次世代応援企画「break a leg」に選出される。

2020年 関西演劇祭参加作品『二十一時、宝来館』でベスト脚本賞受賞。

2020年 『いびしない愛』で第26回劇作家協会新人戯曲賞受賞。

2022年 『他人』で「日本の劇」戯曲賞2022最優秀賞受賞。

3 iaku『流れんな』

2024年8月3日(土)13:00 / 18:00、4日(日)13:00 3回公演(予定)

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【作・演出】横山拓也

【出演】異儀田夏葉、今村裕次郎(小松台東)、
近藤フク(ペンギンプルペイルパイルズ)、
松尾敢太郎(劇団あはひ)、宮地綾

『モモンバのくくり罫』(2023) 舞台写真 撮影: 木村洋一

人気劇作家・横山拓也の演劇ユニットiaku初期の名作を10年ぶりにリクリエーション上演

PARCOプロデュース、新国立劇場、劇団俳優座などへの作品提供が続き、最新作『モモンバのくくり罫』が鶴屋南北戯曲賞を受賞した人気劇作家・演出家の横山拓也が代表を務めるiaku(いあく)。2013年に初演した『流れんな』を、10年ぶりにリクリエーションし上演します。2024年版では、演出を横山自身が手がけ、台詞を初演時の関西弁から広島弁に変えるのみならず、キャストも一新して新たな上演が立ち上がります。

あらすじ

小さな港町にある食堂とまりぎ。父が一人で切り盛りしている店をずっと手伝ってきた娘、長女の睦美(むつみ)と、結婚して家を出た妹、皐月(さつき)は一回り歳が離れている。母親が店のトイレで倒れたのは睦美が中学1年生のとき。そのとき、1歳にも満たなかった皐月には母親の記憶が無い。母の死から26年という長い年月が経った今、とまりぎは災難の渦中にある。店でも使っている食材、地元で獲れた月日貝(つきひがい)から貝毒が見つかった。時を同じくして父が倒れ、店は休業を余儀なくされた。流すことができない苦悩を抱えた人々、その家族、店、町、海…。彼女たちは、ここで生きていく。

iaku

iaku

劇作家・横山拓也による大阪発の演劇ユニット。緻密な会話が螺旋階段を上がるようにじっくりと層を重ね、いつの間にか登場人物たちの葛藤に立ち会っているような感覚に陥る対話中心の劇を発表している。間口の広いエンタテインメントを意識しながら、大人の鑑賞に耐え得る作品づくり、繰り返しの上演が望まれる作品づくりを心掛け活動中。

代表作:『エダニク』(第15回日本劇作家協会新人戯曲賞)、『人の気も知らないで』(第1回せんたい短編戯曲賞大賞)、『逢いにいくの、雨だけど』(第26回OMS戯曲賞佳作)、『あつい胸さわぎ』(2023年1月まつむらしんご監督によって映画化)、『モモンバのくくり罫』(第27回鶴屋南北戯曲賞)、など。

横山拓也(劇作家、パフォーマー、iaku代表)

1977年、大阪府生まれ。2012年に演劇ユニットiaku(いあく)を立ち上げる。鋭い観察眼と綿密な取材を元に、人間や題材を多面的に捉える作劇を心がけている。身近にある社会的な問題を取り上げながら、エンタテインメントとユーモアに富んだ会話劇に定評がある。「消耗しにくい演劇作品」を標榜し、精力的に再演を実施。『エダニク』で第15回日本劇作家協会新人戯曲賞、『ハイツブリが飛ぶのを』の脚本で第72回文化庁芸術祭賞新人賞、『モモンバのくくり罫』で第27回鶴屋南北戯曲賞受賞。また、世田谷パブリックシアター『う蝕』(演出:瀬戸山美咲)、モボ・モガ『多重露光』、劇団俳優座『猫、獅子になる』(共に演出:真鍋卓嗣)、新国立劇場『夜明けの寄り鯨』(演出:大澤遊)、文学座『ジャンガリアン』(演出:松本祐子)など、iaku以外への作品提供も多数。iakuの舞台作品を原作とした小説『わがままな選択』(河出書房新社、2022)、『人の気も知らないで』(小説新潮2023年6月号)の出版や、映画『あつい胸さわぎ』(まつむらしんご監督、2023)が公開されるなど、幅広く活躍中。



4 二兎社『こんばんは、父さん』

2025年1月13日(月・祝)14:00 1回公演(予定)

会場:メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【作・演出】永井愛

【出演】風間杜夫、萩原聖人、豎山隼太

(写真左より) 風間杜夫、萩原聖人、豎山隼太

劇作家・演出家の永井愛の演劇ユニット「二兎社」の濃密な三人芝居を300席の小空間で堪能する

岸田國土戯曲賞をはじめ演劇界のあらゆる賞を受賞してきた劇作家・演出家の永井愛が率いる二兎社の名作が、キャストも新たに12年ぶりに再演。

舞台は廃墟となった町工場。天窗から夕陽が射しこんでいる。金目のものは全て持ち去られた後らしく、残っているのは機械の台座や工具棚、配電盤、コードなど、ガラクタばかり。2階に通じる階段にも廃材が山積みになっている。

そこへ1人の男が入ってきた。窓からのびこんだらしい。男は何の目的でこのような廃墟に来たのか？ そして彼を追ってきた若い男は何者か？ 二人は口論を始めたようだ。いや、もう一人誰かいる。彼らは知り合いなのだろうか？

攻撃する者とされる者、求める者と拒絶する者、希望を語る者とそれを打ち砕く者——それぞれの立場や役割が入れ替わりながら、世代の異なる三人の男のやりとりが続く。夜が深まっていくにつれ、三人の抜き差しならない状況が明らかになり……。



二兎社

1981年、大石静と永井愛の二人が設立。ともに卯年生まれであったことから、劇団名を「二兎社(にとしゃ)」とした。それぞれのオリジナル作品を交互に上演し、二人は役者としても出演。『カズオ』などの「早替わり二人芝居」で人気を博し、大石の退団した1991年以降は、永井の作・演出作品をプロデュースする演劇ユニットとして活動を続けている。



永井愛

劇作家、演出家・二兎社主宰。東京都出身。桐朋学園芸術短期大学演劇専攻科卒業。身辺や意識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結した劇作を続ける。近年の代表作に『『空気』シリーズ』『ザ・空気』<2017>(読売演劇大賞最優秀演出家賞)、『ザ・空気 ver.2』<2018>(読売演劇大賞選考委員特別賞・毎日芸術賞)、『ザ・空気 ver.3』<2021>、軍医と文学者の二つの顔を持つ森鷗外が「大逆事件」をめぐる葛藤する様子を描いた『鷗外の怪談』<2014・2021>(ハヤカワ「悲劇喜劇」賞・芸術選奨文部科学大臣賞)などがある。

〈芸術監督トークシリーズ〉

トーク 映画 演劇 オーディション開催

5 映画『プリズンサークル』監督：坂上香

6 演劇『いみいみ』作・演出：泉 宗良(うさぎの喘ギ)

7 映画『ゆめパのじかん』監督：重江良樹

【企画・トークホスト】山口茜

2024年7月28日(日)、10月12日(土)、2025年1月25日(土)(各回、開始時間調整中)

会場：メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)

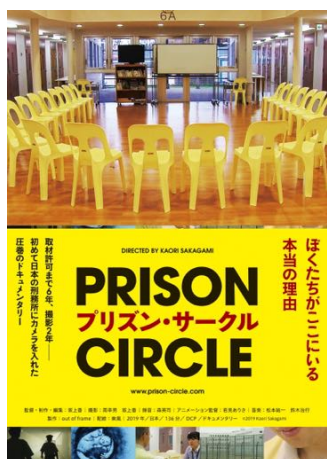
劇場がインクルーシブな場所であるために

メニコン シアターAoiの目指す姿を「自分が主役と思える場所」と定義し、常にマイノリティに寄り添う場所でありたいと志す芸術監督の山口茜が自ら発案・企画するトークシリーズを、2024年度より始動します。

山口が掲げる劇場の目指す姿を見据え、山口が、劇場が、そして作り手・観客をはじめとして、この社会を構成する全ての人が、他者に寄り添い、インクルーシブであるために考えるべきこと、知っておく必要があることを、共に学ぶためのトークシリーズです。

各回、映画もしくは演劇の作品鑑賞とその後のトークセッションをワンセットでご覧いただきます。トークについては、作品に関係する様々な要素から、トークホストも務める山口が、劇場がインクルーシブであるために考えを深めたいテーマを選び、各作品のクリエイターに加えて、そのテーマに知見を有するゲストを招き、山口が来場者とともに学ぶことのできる場づくりを行います。

トークセッションの内容は社会的な共有知と考え、後日レポート記事をWEB上で公開し、インクルーシブな劇場、そして社会が実現に繋がることを目指します。



© 2019 Kaori Sakagami

2024年7月28日(日) 開始時間調整中

映画上映『プリズン・サークル』

(トークテーマ(予定):「負の世代間連鎖を断つために」)

【監督】坂上香

【トーク登壇】坂上香、山口茜、他(ゲスト調整中)



うさぎの喘ギ『いみいみ』(2021) 舞台写真

撮影：小嶋謙介

2024年10月12日(土) 開始時間調整中

演劇上演『いみいみ』

(トークテーマ(予定):「フェミニズム」)

【作・演出】泉宗良(うさぎの喘ギ)

【出演】2024年春、オーディションにて公募予定。

【トーク登壇】泉宗良、山口茜、他(ゲスト調整中)



© ガーラフィルム／ノンデライコ

2025年1月25日(土) 開始時間調整中

映画上映『ゆめパの時間』
(トークテーマ(予定):「子育てと個性」)

【監督】重江良樹
【トーク登壇】重江良樹、山口茜、他(ゲスト調整中)



坂上香(『プリズン・サークル』監督)

ドキュメンタリー映画監督。NPO法人「out of frame」代表。一橋大学客員准教授。高校卒業と同時に渡米・留学、ピッツバーグ大学で社会経済開発学の修士号を取得。南米を放浪した後、帰国後TVドキュメンタリーの道へ。「被害者」による死刑廃止運動、犯罪者の更生、回復共同体、修復的司法、ドラッグコート(薬物裁判所)など、暴力・犯罪に対するオルターナティブな向き合い方を映像化。ATP賞第1回新人奨励賞を皮切りに、ギャラクシー賞大賞、文化庁芸術祭テレビ部門優秀賞、ATPドキュメンタリー部門優秀賞等、数多くの賞を受賞。2001年TV業界を去り、大学専任教員に転職。メディア教育に従事しながら、薬物依存症の女性やその子どもたち、刑務所等に収容される人々を対象に、映像やアートを使ったワークショップも行う。2012年、映画制作に専念するためインディペンデントに。劇場初公開作品でアメリカの刑務所が舞台の『ライファーズ 終身刑を超えて』(2004)で、New York International Independent Film and Video Festival海外ドキュメンタリー部門最優秀賞を受賞。2作目の『トークバック 沈黙を破る女たち』(2013)はLondon Feminist Film Festivalのオープニングに選ばれる。「暴力の後をいかに生きるか」をテーマに、「希望」や「成長」に着目した作品をこれからも作り続けていきたいと考える。主な著書に『癒しと和解への旅』(岩波書店)、『ライファーズ 罪に向きあう』(みすず書房)、『プリズン・サークル』(岩波書店)、『根っからの悪人っているの?』(創元社)。絵本の翻訳に『ねえねえ、もういちどききたいな わたしがうまれたよのこと』、『きょうのわたしは ソワソワ ワクワク』(偕成社)。



泉宗良(うさぎの喘ギ／『いみいみ』劇作・演出)

劇作家・演出家。1996年生まれ。大阪府出身。2017年、大阪教育大学在学中に「うさぎの喘ギ」を旗揚げし、以降殆どの作品で脚本・演出を務める。2018年、大阪の若手演劇祭ウイングカップ8で優秀賞を受賞。2022年よりウイングフィールド劇場スタッフとして企画・運営に携わる。



重江良樹(『ゆめパのじかん』監督)

大阪府出身。映像制作・企画「ガーラフィルム」の屋号で活動中。大阪市西成区・釜ヶ崎を拠点に、映画やウェブにてドキュメンタリー作品を発表すると共に、VPやネット動画など、幅広く映像制作を行う。子ども、若者、非正規労働、福祉などが主なテーマ。2016年公開のドキュメンタリー映画『さとにきたらええやん』では全国で約7万人が鑑賞、平成28年度文化庁映画賞・文化記録映画部門 優秀賞、第90回キネマ旬報ベストテン・文化映画第7位。

8 ヒョーゲンアソビノバ

2024年8月25日(日)開始時間調整中

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【コーディネーター】青木敦子

【ヒョーゲンアソビのなかまたち】
鈴村英理子(役者・ダンサー・振付家)、
長谷川諒(音楽教育学者)、他

※推奨年齢: 未就学児童とその保護者

ひとりひとり それぞれがそれぞれの ありのままを確認できる〈表現/アート〉の遊び場

〈いろいろな音の出る楽器や楽器ではないモノ〉+〈カラダの動きが生まれそうなモノ〉+〈紙と描くためのモノ〉+〈ヒョーゲンアソビのなかま(アーティスト)が探求をしている姿〉がある環境を用意しています。

あとは、そこに大きな危険が起こらないように配慮しつつ、ひとりひとりの活動を肯定的なまなざしと声かけで見守り、サポートするためのスタッフがよりそいます。

決まったプログラムはありません。それぞれの中に生まれた「やってみよう!」を大切にします。アーティストの存在が刺激となって、いろんなところでいろんなことが生まれます。子どもと大人が参加できる〈表現/アート〉の遊び場。



青木敦子

婦人服の販売員9年ののち、やりなおし大学生生活中にアートマネジメントと出会って2003年から地方自治体の文化事業担当として関わる。そのなかで、自分がやりたいことは〈こどもたちの育ちをアートでサポートすること〉だと認識した。2016年からはフリーで助成金を得ながら、アーティスト&アート表現による遊び場をつくる活動とこどものことを知るための保育補助の仕事をしている。



鈴村英理子

役者・ダンサー・振付家。おやこダンスカンパニー「チチカカコ」主宰。言葉ではない小さな子どもとのコミュニケーション、子どもの成長とともに変化していく親子の関係性、「今」しかないわが子との時間にフォーカスを当てたダンス作品をつくっている。



長谷川諒

高校で吹奏楽部に入部し、サクスを始める。その後、広島大学教育学部に入學し、そのまま大学院に進学して博士(教育学)を取得した。現在では、「音楽教育の公共性」に注目しつつ、即興演奏の教育的意義に関する研究に取り組んでいる。神戸大学学外研究員。

〈伝統芸能事業〉

9 風間杜夫 落語独演会

2024年7月13日(土)開始時間調整中

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



【落語】風間杜夫

撮影: 大西富士男

名優・風間杜夫が贈る芝居心溢れる噺の世界

メニコン シアターAoi開館以来、初めての落語会。名優・風間杜夫が舞台「すててこてこてこ」で落語家役を演じて以来20年以上継続してきた独演会を開催。



風間杜夫

1949年東京生まれ。早稲田大学演劇科、俳優小劇場養成所を経て、71年「表現劇場」旗揚げ。77年より、つかこうへい作品に多数出演。82年映画『蒲田行進曲』で人気を博し、83年TV『ステューデス物語』教官役で一世を風靡した。

以降、その演技力に対し高い評価を受けて、幅広いジャンルで活躍。舞台・テレビ・映画に加えて、落語にも取り組み数多くの高座に上がるなど、華のある実力派俳優として第一線を走り続けている。1983年紀伊國屋演劇賞個人賞、1983年84年日本アカデミー賞最優秀助演男優賞、2003年文化庁芸術祭賞演劇部門大賞、2021年菊田一夫演劇賞大賞、2022年毎日芸術賞、他受賞。2010年紫綬褒章、2023年旭日小綬章、受章。

〈音楽事業〉

10 名古屋二期会 with オペラユニット THE LEGEND

エポック

『Époque ステージ ～音楽の物語～』

2024年10月5日(土)開始時間調整中

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)

【出演】名古屋二期会より選抜女性歌手、THE LEGENDより吉田知明、内田智一

名古屋二期会の精鋭たちとTHE LEGENDの中核を担う吉田・内田がタッグを組んで、オペラ・コンサートに新風を吹き込む！

中部地区におけるオペラの普及と発展に力を注ぐ名古屋二期会。

若手の精鋭を選抜し、オペラユニットTHE LEGEND(ザ・レジェンド)とタッグを組む。総合芸術と呼ばれるオペラの枠を超えて、さまざまな形で歌の素晴らしさとその可能性を伝えるステージです。

レパートリーであるオペラ・アリア、クラシック器楽曲や映画音楽からのオリジナル曲を織り交ぜて、オペラファンでなくとも楽しめる“音楽の物語”をお届けします。



名古屋二期会

1970年、中部地方で初の声楽団体として「二期会名古屋支部」の名称で誕生した。二期会会員でもある平田黎子県立芸大声楽科教授、音楽評論家牧定忠が顧問、加藤義也、洞谷吉男、小手川晶子、篠原節子、山本皖惟、加藤典子の6人が会員となり、芸大卒業生を含め名古屋地区の声楽を志す人たちに、教育と研究、発表の場を作ることになった。2020年に発足50周年を迎え、会員も180名を数える。オペラの上演数は、数多い日本のオペラ団体の中でも、東京二期会、藤原歌劇団、関西歌劇団、ニッセイ文化振興財団、東京室内歌劇場に次ぐ実績を誇っている。

オペラユニット THE LEGEND

男性オペラ歌手による日本初のオペラユニット“THE LEGEND”(ザ・レジェンド)。メンバーはそれぞれ海外留学経験を持ち、国内外のコンクール受賞歴のほか、数々のオペラやコンサートに出演する実力派揃い。大劇場での創作オペラやシンフォニックコンサートだけでなく、ミニシアターやライブハウスまで活動の場を広げ、常に娯楽性の高いステージパフォーマンスで、オペラという音楽ジャンルを誰もが楽しめるエンターテインメントへと進化させている。



吉田知明

愛知県名古屋市出身。国立音楽大学音楽学部声楽専修卒業、同大学院修士課程声楽専攻オペラコース修了。イタリアミラノ留学。

2006年のTHE LEGEND結成当初より、リーダーとして中心的な役割を果たす。

近年では、プレイヤーのみならずプロデューサー、作詞・脚本、演出を担当する舞台作品も多く、その多面的・総合的な活動においても着実に評価を得ている。



内田智一

北海道札幌市出身。国立音楽大学声楽科卒業。

2003年よりミラノに留学。研鑽を積む傍らイタリア各地でオペラやコンサートに出演。

近年では、THE LEGENDとしてのオペラやコンサートステージへの出演に加えてストレートプレイにも活動の幅を広げ、第20回杉並演劇大賞受賞作『性年バイバイ』では、その類稀なる表現力と圧倒的な存在感で好評を博した。

11 コンサート『光と音のタペストリー』

音楽 映像

2024年12月15日(日)開始時間調整中

会場: メニコン シアターAoi(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)

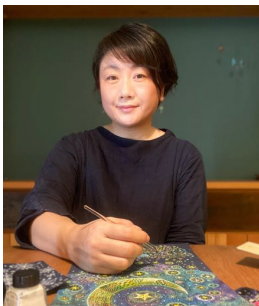


【出演】

酒井敦美(光の切り絵)、池田綾子(歌)、サキタハチメ(ミュージカルソー)

サキタハチメプロデュース『奥河内音絵巻』より

メニコン シアターAoiの緞帳と劇場ロビーのプロジェクターによる投影作品「光の切り絵」を手がけた、切り絵作家・酒井敦美らによる光と音楽、そしてアートが融合した、ここだけでしか味わえない特別なコンサート。



酒井敦美(光の切り絵 作家)

独学で絵を描き続け、舞台美術としての OHP を使った切り絵制作が礎となる。

“切り絵”を“光”で透かして表現する、オリジナル画風を「光の切り絵」と名付け、制作・発表を続けている。

光の切り絵には今、一枚の切り絵が二つの表情に変化する「一画二驚(いちがにきょう)」、街路や景色に投影する「幻灯空間」、音楽とオブジェと共に風景を描く「地球スケッチ」など様々な表現が生まれ、枠に留まることなく思うままに創作に挑み、遊び続けている。



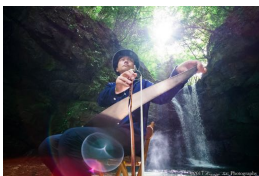
池田綾子(歌)

東京都出身。武蔵野音楽大学音楽学部音楽科卒業。

2002年から音楽活動を開始。日本語の「響き」を大切に歌詞と旋律、クラシックの発声を基調とした独自の歌声を持つシンガーソングライター。心の音を紡ぐような音楽世界と透き通る声の音色は、ジャンルを超えて数々のコラボレーションを生み続けている。

今までに数多くのTV、CM、映画、アーティストへの楽曲提供も行う。また、光の切り絵作家・酒井敦美氏との共同作品「音と光り絵コンサート」を大切に続けている。屋久島の森の中で2000本のキャンドルを灯し、自然と響き合う幻想的な音楽祭「やくしま森祭り」を立ち上げ、18年目を迎えた。NHK「みんなのうた」、NHKBSプレミアム「にっぽん縦断こころ旅」のテーマソング、NHKニュースの番組音楽を手掛ける。また、小学校の教科書にも合唱曲を書き下ろしている。

手嶌葵氏に楽曲提供した、フジテレビドラマ「いつかこの恋を思い出してきっと泣いてしまう」の主題歌「明日への手紙」は、2016年国際ドラマフェスティバル in TOKYO 東京ドラマアワードにて主題歌賞を受賞。JR九州クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」イメージソング、日本航空株式会社(JAL)のラジオCMソングに「星空サンクチュアリ」2021年よつ葉乳業株式会社 ブランドCM曲「ヒカリノイト」、2022年特選よつ葉牛乳 CM曲「風の声に耳を澄ませて」を担当。8枚目のアルバム「HIKARI」をリリースし2023年2月にオーチャードホールで20周年コンサートを開催した。NHKラジオ第一放送「ふんわり」のボーカルを担当している。



サキタハチメ(ミュージカルソー奏者)

作曲家・ミュージカルソー(のこぎり)奏者、サウンドアーティスト。作曲家として、NHK連続テレビ小説「おちよん」、NHKEテレ「シャキーン!」日本テレビ「妖怪人間ベム」等、ドラマ・CM・映画・ミュージカル等の音楽を多数担当。

国内外で精力的にコンサート活動を展開。アメリカのミュージカルソーコンテストで2度優勝。4枚のアルバムをリリース。N響メンバーによる室内楽アンサンブル「ゲートウェイリステン」と全国ツアー中。

サウンドアーティストとして「奥河内音絵巻」「山を鳴らす」「地球オルガン」「鈴虫とミュージカルソー」「森のパイプオルガン」「バチカンと高野山を音で繋ぐ」など、既存の音楽の枠やジャンルを超えた規模・発想での作品を創作し発信中。大阪関西国際芸術祭、日本国際芸術祭に参加。大阪関西万博2025に参加決定。

12 プリズムステージ2024

音楽 レクチャー 人材育成

2024年4月～2025年3月(年間30回程度の開催を予定)

会場:HITOMIホール(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 メニコンANNEX)



【プロデュース】
楠部享子(メニコンビジネスアシスト)

多彩に煌めくステージをHITOMIホールで

プリズムステージとは、メニコン芸術文化記念財団が地域の文化芸術振興の一助を担うことを目的として、クラシック音楽コンサートを中心に、アーティスト・演奏者と協同し、相互の発信力・企画力・ステージオリティの追求を目指し実施する企画でHITOMIホールにて年間約30公演をお届けしています。音楽はクラシック音楽を中心にしながらも、クラシック音楽から派生するオリジナル音楽、ミュージカル音楽、JAZZやPOPSも含めて多彩にお届けし、さらに、音楽を軸に、演劇や朗読、身体表現(コンテンポラリー)など異なるジャンルとのコラボレーションステージも積極的に展開しています。また、リレーコンサートシリーズ(1回/月)、スター・クラシックス・アカデミア・タイアップシリーズなど、若手アーティストの起用を推進し、次代を担う演奏家の発掘にも繋がります。

プリズムステージ2024 ラインナップ(抜粋)

- ① 伊藤香紀ピアノリサイタル ※スター・クラシックス・アカデミア・タイアップシリーズVol.4
5月30日(木)18:45開演予定
- ② セントラル愛知交響楽団シリーズ
4月9日(火)19:00開演予定 ヴァイオリン・島田真千子プロデュース・チェンバープレイヤーズ
- ③ リレーコンサートシリーズ(1回/月)
4月18日(木)18:45開演 稲垣英里奈ヴァイオリンリサイタル
5月14日(火)18:45開演 丸地郁海コントラバスリサイタル ほか
- ④ マルツィン・ディラ ギターリサイタル(★プチ・プレステージ:大谷恵理架)
9月4日(水)19:00開演予定 協力:名古屋ギターフェスティバル
- ⑤ 朗読音楽劇「革命への行進曲～モーツァルト対検閲官、歌劇『フィガロの結婚』をめぐる攻防」
9月12日(木)・13日(金)各18:30開演予定
- ⑥ 朗読と音楽が紡ぐ愛、「智恵子抄～田園交響楽より～」
10月9日(水)・10日(木)各15:00開演予定
- ⑦ 「気軽にオペレッタ」シリーズ ジャコモ・プッチーニSpecial
歌劇「蝶々夫人」ダイジェスト&オペラアリア・ガラ
11月1日(金)18:30開演、2日(土)15:00開演 ※予定



★プリズムスクール★

プリズムステージの姉妹企画として、講義・講演が主体ながら音楽シーンとの融合を図るカルチャー講座。

文学・美術・自然科学・歴史…など、アカデミックで敷居が高いと思われがちな分野に、音楽との絡みをもって異なる視点から有機的に知識を体感・体得してもらうことを目的に開講しています。

13

プロジェクターによる投影作品『光の切り絵～雫の旅～』 ロビーコンサート

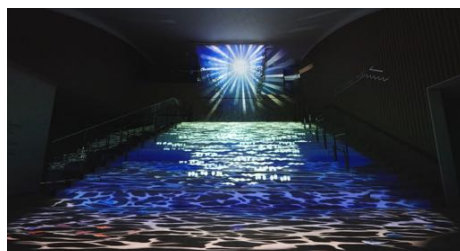
『光の切り絵～雫の旅～』毎週火曜日18時～

*シアターAoiでイベントのある日ならびに休館日はお休みです。

ロビーコンサートは不定期開催。

会場: メニコン シアターAoi 1Fロビー

(愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号 Menicon Theater Aoi Bldg. 内)



『光の切り絵～雫の旅～』上映写真



ロビーコンサート 演奏写真

【光の切り絵】酒井敦美

メニコン シアターAoiの緞帳デザインを手がけた酒井敦美さんによる光の切り絵を上映いたします。ここでしかみることができない幻想的な光の切り絵と音楽を是非体感しに来てください！

酒井敦美(→P13)

メニコン シアターAoi 劇場紹介

1. 客席	
301席(うち、車椅子スペース 2席、多目的室 4席) ※117席取り外し可能(中通路より前の6列すべて、最後列中央ブロック10席)	
2. 舞台 客席への張出舞台や花道等の演出可能	
巾	9.6m(5間1尺6寸)
奥行	舞台框から horizont 幕まで 9.54m(5間1尺4寸) 舞台框から可動壁まで 9.8m (5間2尺3寸)
高さ	6.0m(3間1尺8寸) (サスペンションライトの飛び切り高さ約7.2m)
プロセニウム	開口幅 9.6m(5間1尺6寸)開口高さ6.0m(3間1尺8寸)
オーケストラピット	約30㎡の設置可 客席面より1.4m、中奈落からの出入り扉 幅 約2.0m
3. 舞台設備	
(1)床機構	舞台中央 迫り機構 6.67m×2.73m ※床面黒塗装、床積載荷重:500kg/㎡ 大道具搬入迫と兼用 ※舞台奥昇降壁、舞台下手袖可動壁
(2)吊機構	緞帳(幅10.6m、高さ7.0m) サスペンションライト(1~3、客席1)ポーターライト(1,2) アッパーホリゾンライト 可変速昇降式吊物バトン 9本 (電動ワイヤ巻取り式、最大重量 300kg、昇降速度 8~45m/min) 各種幕類 昇降壁(舞台2階楽屋とを仕切る壁)幅10.8m、高さ4.05m 昇降ストローク3.6m、開口高さ3.0m
4. AFC(音場支援システム)設備	
5. 楽屋・諸室 ※各階インターネット利用可能	
1階	・主催者控室
3階 (舞台フロア)	・小楽屋1:3.5㎡(定員1名、シャワー&トイレ付) ・小楽屋2/小楽屋3:全体10㎡、可動壁で分割 約4.5㎡/約5.5㎡(各1名、トイレ隣接)
4階	・大楽屋1:約30㎡(定員10名) ・共用トイレ:兼用個室2 ・シャワールーム:2ブース 給湯コーナー
5階	・練習室兼大楽屋2:約29㎡(定員15名)・共用トイレ:兼用個室2 ・シャワールーム:1ブース 洗濯コーナー、給湯コーナー

メニコン シアターAoi 貸館情報

1. 申込受付開始時期

使用目的	予約開始日
① 2日間以下の利用	使用日(複数日の場合は初日)の10か月前の月の第1営業日
② 3日以上の利用	使用日(複数日の場合は初日)の12か月前の月の第1営業日
③ 舞台のみ利用	使用日の3ヶ月前の月の第1営業日
④ 非会員の利用 (文化芸術に関する活動以外営利目的での利用)	使用日の2ヶ月前の月の第1営業日

- ・予約受付は使用日の1か月前の月末にて締め切ります。
- ・予約希望が重なった場合は原則会員の予約を優先します。

2. ご利用の流れ

初回ご利用にあたり、文化芸術、芸能に関する活動(演劇、オペラ、ミュージカル、演奏会、講座・セミナー等)でご利用の方は、事前に利用会員登録が必要となります。
利用会員登録に関しては、当財団が別途定める利用会員規約の内容をご確認の上、所定の方法でお手続きください。文化芸術に関する活動以外の利用の方は非会員利用となりますので、利用会員登録は不要ですが、シアターの予約受付期間、利用料金が異なりますのでご注意ください。

Step1 利用会員登録(要 利用登録・入会金)

Step2 お申込み

- ・空き状況はオンライン予約システムでご確認いただけます。
- ・申込み開始日は利用日数・用途によって異なります。また、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、一般申込みに先立って受付する優先申込みを行っています。詳細は当シアターWEBサイトをご確認ください。

Step3 使用申込みの成立

- ・使用承諾の可否を、メールにてご連絡します。

Step4 本申し込み・使用料金の支払い

- ・当シアターと来館日を調整し、ご来館にて本申し込みをお願いします。

Step5 公演内容の打ち合わせ(利用日の約1ヶ月前)

3. 諸注意

■キャンセル料について

主催者の都合により、当シアターとピアノの使用を取り消される場合には以下の取消料金(キャンセル料金)が発生いたします。

基本使用料金の全額: 当シアター使用日の3か月前から当日までの取消

- ・上記の他、催事当日にピアノ調律が予定されている場合のピアノのキャンセルについては、調律業者の規約によりキャンセル料金をご請求される場合があります。

■当シアター使用時の禁止事項

・喫煙行為(施設周辺も完全禁煙) ・フロアに揺れが伝わる重低音・振動の演出 ・大きな音が出る大太鼓等の楽器の使用

* その他の禁止事項や、当シアター使用の制限が発生する事由、事故等による公演中止の管理責任等についての詳細は、シアターAoiのWEBサイトをご確認ください。

■ メニコン シアターAoi WEBサイト

最新の情報はこちらからご覧ください。

劇場パス図等、メニコン シアターAoiの広報用素材もこちらからダウンロードいただけます。

<https://meniconart.or.jp/aoi/>

■ チケット

メニコン シアターAoiでの主催事業のチケットは、メニコン シアターAoiウェブサイトにてご購入いただけます。

チケット予約サイトの会員登録で、公演情報や劇場関連情報を掲載したメールマガジンを定期的に配信します。

■ SNS

X(旧Twitter)



@TheaterAoi

Instagram



@theateraai

Facebook



@TheaterAoi

YouTubeチャンネル



@menicon_aoi

note



theater_aoi

主催:

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団

愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号

TEL:052-938-7185(10時-17時) * 休館日除く(不定期)

FAX:052-982-9108

広報に関するお問い合わせ:

公益財団法人メニコン芸術文化記念財団 主催事業ラインアップ発表 記者会見事務局

TEL:03-4213-4292(平日10時-18時) FAX:03-4333-0878

E-mail: press@aoi-press.info